

平成 2 1 年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、平成 2 1 年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、現場の視察、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	良い	生徒の学力が定着しやすいようにカリキュラムを編成している。選択教科も多様化する生徒のニーズに応じた対応が行われており、一定の評価ができる。 進路指導についても、生徒の目標を細やかに把握され、個別指導等の適切な指導が行われ、着実に実績を上げている。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	良い	生徒指導については、個々の生徒への教育相談やサポート等での指導とともに家庭との連携が密に行われ、生徒それぞれが目標に向け着実に頑張っており、一定の評価ができる。 生徒の健康管理では、通信制のため健康診断の義務付けはないというもの、より健全な心身の成長と発達をサポートして欲しい。
項	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	概ね満足	組織運営については、平成 22 年度相生学院校事務分掌に基づく運営がなされている。 教育目標に対する取り組みでは、目標に即した学校運営がなされているが、それを客観的に評価するために自己評価や学校関係者評価等を実施して、自ら検証する体制づくりが必要である。
目	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	家庭との協力については通信制高校では困難な面もあるが、定期的に発行している相学通信や個別連絡等を通じて密に行われている。 また、スクーリング時に市内での漁業・農業の体験学習や地域行事等に積極的に参加し、交流を図るなど、一定の評価ができる。

学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	概ね満足	学校設置による経済的な効果は、大きな変化や影響は感じられない。しかし、テニス部は全国大会に頻繁に進出し上位の成績を収めるなど、その活躍による知名度向上の功績は大きい。また、スクーリング時の地域住民との交流が進められ、相生学院高等学校への理解が高まっている。
市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	概ね満足	市と学校との事務連絡や報告といった分野では一定の連携が図られているが、より厳格な方法により相互間連携の強化を図りたい。

総括・課題	相生学院高等学校評価基準に基づき総合的に評価を行った結果、生徒への教育面や家庭との連携においては、客観的な証拠やヒアリングの状況から一定の評価ができる。しかし、学校の管理運営、学校設置による効果、市との連携協力については更なる向上の余地があり、その取り組みの向上を図っていただきたい。
-------	--

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。